

2015年12月25日

Vol.77

南事業会ニュース



Table of Contents

■臨時総会と今後の会の方針について	2
■臨時総会	2
■行事	
京浜工場夜景ツアー	4
国会・官邸見学ツアー	4
■新会員紹介	
株式会社セルベル	6
株式会社マック	6
■南区の歴史	7

発行人：斎藤 隆正
 発行：南事業会広報委員会
 委員長：島田 秀世

事務局：〒 232-0014
 横浜市南区吉野町 3-7
 横浜信用金庫吉野町支店 3階
 TEL 045 - 252 - 4452
 FAX 045 - 252 - 4457
 E-mail: minami-k@mbi.nifty.com
 事務局長 山下逸重

臨時総会と今後の会の 方針について



会長 齋藤 隆正

南工業会の今期目標は会員の増強と地域に貢献出来る会を目指して、具体的な改革案を出し実行していくことが目標です。改革案の一つとして、現会員構成は多業種に変化しそれに伴った名称変更を検討することを理事会で承認頂きました。過日会員の皆様には名称変更の件でアンケートをお願いし、その回答をもとに協議を重ね、名称変更を臨時総会でご審議頂くために臨時総会を開催致しました。名称変更をする意味は、一言で会員増強です。財政面、活動面、内部を充実した会員の皆様に喜んで頂き、これまで以上に会員と地域の為に活発な活動を実践できる会に発展させていきます。

世界的、全国的に貢献されている会員の皆様もおられますが、会員事業主の多くは地域貢献企業の皆様です。ホームグラウンドの南区を愛してやまない方々の集合体です。南区は歴史と文化が多く残されており、横浜の近代化の発展にも貢献しております。その貢献の一役を担っている企業主が多く活躍し、事業的にも縁起のいい街です。

南区の事業主は素朴で人情味があり、大企業にない家庭的な温かさがを持った人たちが集まっています。それは会の行事、それらを検討する運営会議等でいつも感じることができます。行政のキャッチコピーは「南の風はあたたかい」です。本当に多くの暖かさを感じ、その地域を含め環境の下で会を運営できる幸せを感謝しております。今期に入り、会の組織改革をし、会長、副会長、会計、三役が理事会で検討された事業を責任者として担当し、会員の皆様にご理解頂ける、より良い組織作りに邁進致します。会員皆様にはこれからも会員増強のご支援

をよろしくお願い致します。

情報を頂ければ、三役全員がすぐに行動いたします。南区のために、会員企業のために喜びを多く共有できる活動を目指して、広報活動も活発に行い、行事に参加できない会員の皆様にも情報を共有できる案内をして、喜ばれる活動をして行きます。皆様のご理解ご支援を切に切によろしくお願い致します。

臨時総会

平成 27 年 11 月 18 日（水）、午後 6 時 15 分、大岡地区センターにおいて、定刻に司会者（横山副会長）の開会宣言により臨時総会に入った。現在の正会員数 72 社に対し、出席会員 19 社、委任状会員 40 社、定足数（1/3）を満たし、臨時総会が成立することが報告された。



齋藤隆正会長の挨拶後、会長が議長を務め、議事録署名人及び書記が選任され議事に入った。

第一号議案、「南工業会名称変更の件について」島田副会長より説明があり採決入り、賛成多数にて承認された。

第二号議案、「会則規定追加・変更の件について」島田副会長より説明があり、採決に入り、賛成多数にて承認された。

なお、他の細かい規定については、翌年の総会において変更される旨、説明があった。

議事が終了となり、議長が解任され、臨時総会は閉会された。

閉会后、新会員 4 社の方が出席されており、皆さんに新会員をご紹介します、しばらく雑談の時間をとり交流を図った。



南事業会規約変更一覧

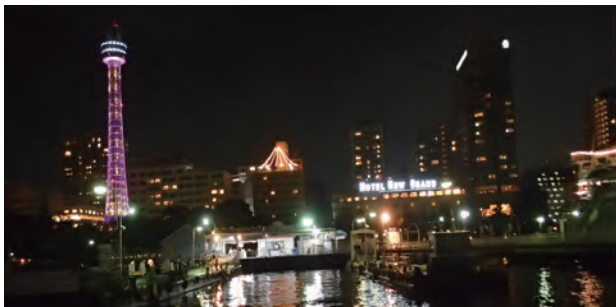
平成27年11月18日

項目	頁	課目	南工業会規約	南事業会規約
表紙				
表紙	表題	名称変更	南工業会規約	南事業会規約
	目次	削除変更	南工業会会則～南工業会候補者選考規定	すべて会名を削除～規定に統一
		名称変更	南工業会	南事業会
南工業会会則				
会則	1		南工業会会則	改名を削除・会則
第1章 総則				
第1条	1	部分削除	本会は、地域企業間の連携を強化し、会員のための共同事業を行うとともに、会員・従業員等に対する福利、厚生事業の充実を図り もって地域社会における工業の地位向上及び 地域社会の発展に寄与することを目的とする。	本会は、地域企業間の連携を強化し、会員のための共同事業を行うとともに、会員・従業員等に対する福利、厚生事業の充実を図り 地域社会の発展に寄与することを目的とする。
第2条	1	名称変更	南工業会	南事業会
第2章 会員				
第5条	2	部分削除	南区内又は周辺に事業所を有し、当区内に 密接な関係を持つ 法人又は個人で本会への賛助を目的として入会した者	密接な関係を持つ法人又は個人で本会への賛助を目的として入会した者
会費規定				
表題		名称変更	南工業会会費規定	南工業会削除 ⇒ 会費規定
第1条		名称変更	この規定は、南工業会の～	この規定は、南事業会の～
第3条	6	新設追加		0人～2人 1,000円 6,000円
		人数変更	1人～5人 1,500円 9,000円	3人～5人 1,500円 9,000円
第4条		名称変更	口座名義人 ⇒ 南工業会	口座名義人 ⇒ 南事業会
附則	7	新期追加		平成27年11月18日一部改訂・追加

※ 左側が従来の南工業会規約 右側が新規南事業会規約
 ※ 訂正部分は赤字で表示

京浜工場夜景クルーズ 見学会

平成27年9月5日(土)、18時に集合し、まずはメルパークで和食膳の夕食を頂きました。歓談の後、いよいよクルーズに乗船。



山下公園のマリンルージュなども発着しているクルージングターミナルに移動し、19時30分の出航に備えます。大変人気があるようで、定員50名だったのですが、我々が乗船した回も満員でした。乗船すると席が前と左右を見やすいように配置されていて、各々座る場所を確保しました。全部を見渡せる甲板が一番人気ですぐに埋まってしまい、我々は船が逆時計回りに回るのをチェックして右側の席にしました。右最前列は横山副会長と橋本さんがしっかり陣取っていました。準備万端いよいよクルーズ出航です。周囲をよりよく見るために船内が消灯され、ムードがUP林さんという芸人ナビゲーターが流暢に見どころを説明してくれます。コースは京浜運河を東京方面に進み、羽田の手前まで行って戻ってきます。工場の電灯は、街中の電灯と違い、ナトリウムランプのオレンジ色のライトが使用され、さながらニューヨークのナイトクルーズのような雰囲気。ベイブリッジ、つばさ橋にはじまり5つ(!)もある発電所をめぐりつつ見どころである東亜石油や昭和電工の建物が暗闇の中に各所の証明で照らし出された姿は、さながらブレードランナーの世界観で映画のようでした。そんなことで80分のクルーズはあっという間に山下公園に戻ってきて終了、解散となりました。

今回はじめて、南工業会の見学会に参加させて頂きましたが総勢17名の参加で、雲行きが怪しかっ

たのですが、会長のお力か雨にも降られることなく楽しく終わることができました。

また次回も楽しく工業会のみなさんと交流が出来る企画を期待しております。

みなさんも是非次回は参加しましょう。



(寄稿：株式会社 柴橋商会 鈴木 浩之)

南工業会の「国会・官邸 訪問バスツアー」に参加 して

南工業会の「国会・官邸訪問バスツアー」が11月6日(金)に実施され、午前9時に日枝小学校前に集合。秋晴れの素晴らしい天気の中、総勢16名で当会会員の高栄企業・宮本理事の運転するマイクロバスで「すが義偉事務所・小池文彦秘書」の軽妙な沿線ガイドもあり、和気あいあいの内に高速道路の渋滞もなく現地に到着、あいにく当日は修学旅行シーズンと重なり見学者が多くバスを駐車場に入れるのに若干時間がかかりました。

国会構内遊歩道に植えられた北海道から沖縄まで各「都道府県の木」が北から南まで、気温がまちまちのはずなのにそれぞれの地域の樹木が都心でちゃんと育っているのが不思議な気がしました。

国会議事堂に入ると、赤い絨毯が引きつめられ、重厚で格式の高い建造物と相まって歴史の重みを感じることができましたが、本会議場でも感じたことですが全体に照明が暗い感じがしました。

本会議場は、オペラハウス(実物は見たことがありませんが・・・)のようなゴージャスな造り、傍聴

席は2階にあり丁度お芝居を観客席から見下ろす感じのようです。

本日は国会が閉会中でゆっくりと説明を聞きながら普段目にするのこない貴賓席や外交官席・記者席等も目にする事ができ、良いも悪いもこの場所から日本の政(まつりごと)が決まることを実感しました。

国会議事堂の一番高い部分の中央広間は、法隆寺の五重塔が入るほどのスペースがあり東西南北に3体の銅像と、一台の台座が据えられおり、日本初の内閣総理大臣・伊藤博文、日本初の政党・自由党の党首を務めた板垣退助、日本最初の政党内閣の総理大臣・大隈重信の銅像がそれぞれのコーナーに立ち台座のみのところは誰にするか決まらず「政治に完成はない、未完の象徴」という意味も込めて、台座のみ据えられているとか、4人目に飾られるような立派な議員を目指せとか諸説あるようですが・・・。



ガラス越しに見る天皇陛下の「御休所」は、隣にある皇族方の「御休所」と比べてすべてにおいて格段の差があり、国会内でも一番華麗な造りになっているそうですがその一方で孤独な感じを受けました。

尚、国会の会期の初めには、参議院の本会議場で衆参両議院の議員が集まり、天皇陛下がお見えになり開会式が行われますが参議院本会議場のみに天皇陛下の「御席」があり衆議院本会議場にはなく、参議院が貴族院の流れをくむため、これが衆議院との大きな違いです。



議員食堂での昼食をはさみ、総理官邸に向かいました。建物の雰囲気は内部は洋風、外見は和風といったところで、地上5階地下1階鉄筋コンクリート建造物です。

官邸は警備が徹底され、入り口の守衛所で見学者全員の個別認識・持ち物検査を受け入館、普段は正面からしか見ることのこない国会議事堂の全体像を議員会館から見下ろす景観は一見の価値がありました。

公務でご多忙の中、菅義偉官房長官との面会も叶い、短い時間でしたが国政の重大さが認識されました。歴史のある国会の重厚な雰囲気と違い、官邸の近代的な雰囲気は両極端でした。

その後、官邸を後にして靖国神社に参拝し帰路につきました。

この催しに参加したことで、ニュース等で目にする国会や官邸の現場を直接体験したことで政治を身近に感じる事ができとても有意義なました。

株式会社セルベル

新会員紹介

弊社は、これからの少子・高齢化社会、核家族化の増加など、時代のニーズ、変化に応え、平成26年7月に南区中里に家族葬専用ホールを開設致しました。家族構成、地域社会、環境の変化による葬儀の多様化の中、「人と人との絆」「家族の愛」を大切にしたい想いを通じて、その命に感謝する葬儀の大切さを発信していく事をセルベルスタッフ一同の基本理念としております。その理念のもと、全ての葬儀において、それぞれが想う「つむぐ」を感じて頂く空間と時間を提供してまいります。

私たちは「かぞく葬儀の窓口」として、葬儀の事前相談、葬儀保険、介護施設・霊園のご案内、相続・遺言・贈与など専門家などの無料相談も受け付けております。また、地域との繋がり社会貢献に重点を置き、朝市の開催、東北復興支援活動、終身活動セミナーの開催、町内会・自治会における催事、防犯活動等に積極的に参加させて頂き、南区に密着した活動を通じて、皆様に必要とされ、地域になくてはならない企業を目指しています。

業務内容

- ・葬祭業(365日24時間受付)・墓地、墓石、霊園のご案内
- ・返礼品、贈答品・仏壇、仏具の販売・少額短期保険代理店・法事案内

所在地：横浜市 南区 中里 1-9-25

Tel (045)714-0269 Fax (045)714-7530

ホームページ <http://www.cere-bell.com/>



株式会社 マック

新会員紹介

企業理念

弊社では作業服をはじめ、安全靴・工具と作業用品全般を格安で販売しています。

近年、企業のワーキングシーンが多様化しさらに進化し続けていますが、それゆえに、人と企業を結びつけ、個人個人の仕事に対する意識の向上さらには、職場の結束力を高める事が 一層求められています。

そのような観点より “企業らしさ” “ワーキングスタイルらしさ” をモットーに、たんなる作業着ではなく「心と心をつつむユニホーム」としてうけとめ、きめ細やかな製品ラインナップでご提案・ご提供し、みなさまの良きパートナーとなるべく心がけております。

営業品目：作業服全般（防寒コート、ジャンパー、Tシャツ、インナー）・安全靴・着衣料
ヘルメット / 安全帽・帽子・手袋・ベルト、工具等作業用品全般の小売販売及び加工
名入れタオル・カレンダー・名札制作

【本店】 〒232-0016 横浜市南区宮元町 1-4

電話：045-742-2100 FAX：045-742-2129

【港南店】 〒234-0053 横浜市港南区日野中央 2-3-10

電話：045-847-0951 FAX：045-847-0952



南区の歴史 増徳院



横浜市南区平楽 103 番地にある増徳院は、「高野山真言宗」準別格本山のお寺で、海竜山本泉寺増徳院という。

元は、中区元町 1 - 13(現在の元町プラザあたり)の場所にあったお寺で大同元年(806年)弘法大師の創立と伝えられている。

元町にあった薬師堂に安置されていた本尊は、聖徳太子四十二歳の時に厄除のために作られたもので、お堂は弘法大師が創立されたものである旨、寄進状に書かれている。

寄進状の本書は南区堀ノ内にある「宝生寺」に現存している。

また、当時あった弁天堂は洲干島(野毛付近)弁天社の御本尊で(伊豆の土肥の杉山から移されたもので杉山弁天とも言われている)横浜村の鎮守の本体であった。



聖観世音像

この様に増徳院は古くから町の人達の信仰の中心的存在であった。

しかし、関東大震災の火災で焼失し、その後昭和 3 年に類焼の恐れのない南区平楽に移転し再建した。

一方、元町においては、昭和 6 年に再建されたが戦災にてまた焼失し、現在薬師堂のみ再建されている。

幕末になって、この寺の墓所をペリーの意向で外国人の墓地に提供したことから現在の「山手外国人墓地」が誕生した。

ペリー艦隊のミシシippi号船員ウイリアムズの埋葬された場所は増徳院の境内の丘であった。しかし、日米和親条約によって伊豆下田の玉泉寺に米国人用墓地が作られることになり、ウイリアムズの遺体はこの 3 か月後に玉泉寺に改葬されている。



増徳院境内



増徳院本堂

(広報委員 島田)

石川精機製作所株式会社
代表取締役
石川 隆

大坪工業株式会社
代表取締役会長
大坪 久己

株式会社カンザイ
代表取締役
横山 敦子

共同写真株式会社
代表取締役
古賀 正人

株式会社柴橋商会
代表取締役
柴橋 和弘

千歳自動車工業株式会社
代表取締役
竹村 統身

日本濾水機工業株式会社
代表取締役会長
橋本 祐二

株式会社濱田園
代表取締役
粟飯原 勉

株式会社平岡電機工事
代表取締役
平岡 久雄

有限会社松島旅館
代表取締役
島田 秀世

有限会社水野ゴム
代表取締役
水野 嘉和

株式会社ジェイコムイースト
横浜テレビ局
局長
野中 範郎

港南硝子株式会社
代表取締役
宮代 茂

株式会社ワイシー・ドキュメント
代表取締役
朝香 雅文